

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	令和3年3月11日
横断的な課題	「森林・林業と学び」の拠点形成					木曾 地域振興局
地域重点政策	「木曾らしさ」を活かした地域づくり					
実施機関	木曾地域振興局			担当課	所属	林務課
事業名	木曾地域木材産業振興対策推進事業				電話	0264-25-2225
				E-mail	kisochi-rimmu@perf.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	木曾地域の林業・木材産業の高付加価値化を推進することにより地域産業としての成長を図る。				
	現状と課題	木曾地域は総面積の93%を森林が占める中で、天然木曾檜が希少となる一方、高品質な人工林の木曾ヒノキやカラマツの資源が充実してきている。しかしながら、地域資源の利活用を支える林業や木材産業は、生産性向上や付加価値を高める体制づくりが立ち遅れ、様々な条件整備等は進めているものの、未だ多くは原木のまま県外を中心に移出している現状にある。こうした中で、平成30年度に地域振興推進費を活用して「木曾地域木材産業振興対策協議会」を設置し、木材の地域循環利用や高付加価値化について検討を行い、推進のためのロードマップを策定した。このロードマップを確実に展開し高付加価値化を推進する必要がある。				
	内容	○木曾地域木材産業振興対策協議会を開催し、ロードマップの進捗、課題等の検討を行う。 ○木曾の民有林から生産されたカラマツについて、一般的に多く活用されている横架材の「梁・桁」(10.5cm×21cm)のKD材(人工乾燥材)、20本を、林業総合センター施設の実大材曲げ試験機により曲げ強度及び曲げヤング係数を測定。その他、年輪巾や比重、横圧縮強度等の木曾の木材の強みにつながる測定を実施。 ○木材輸送流通の現状分析及び伝統的工芸品原材料の需給マッチング分析について、委託により調査を行う。				
事業期間	令和2年5月11日 ~ 令和3年3月11日					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	(計画額) 実績額	備考		
	木曾地域木材産業振興対策協議会の開催	・進捗管理 ・課題検討	78,690	委員報償・旅費		
	木曾産民有林における人工林カラマツ強度試験	・曲げ強度及び横圧縮試験 ・年輪巾、比重測定	520,000	県林業総合センター共同試験(実績523,832円中の当局負担分)		
	輸送力及び原材料の需給マッチング現委託調査	・木材輸送現状調査、分析 ・木材加工原材料需給マッチング調査、分析	990,000	業務委託		
合計		1,588,690				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	木曾郡内における製材業の製品出荷量		11,000m ³	11,539m ³	● 達成	
			(現状維持)	(R1)	○ 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	○令和3年2月5日に木曾地域木材産業振興対策協議会を開催し、木曾地域の林業・木材産業の高付加価値化に向けたロードマップに基づく取組の成果・進捗・課題等の検討を行い、関係者による情報共有を図るとともに、今後の展開について検討を行った。 ○木曾地域の民有林から生産されたカラマツ材について、梁・桁の人工乾燥材を、県林業総合センターにおいて乾燥試験、曲げ強度及び曲げヤング係数試験等により科学的な強みの立証を行い、外材の梁・桁に代る地域の強みのある木材として打ち出していく足がかりを得ることができた。 ○木材輸送流通の現状分析及び伝統的工芸品原材料の需給マッチング分析について調査を実施し、現在の木材流通・加工業の実態をつかむことができた。(R3で対策等について検討予定)					
今後の方向性	引き続き、「木曾地域の林業・木材産業の高付加価値化に向けたロードマップ」に基づき、産・官・学の協働により着実に各種取組の展開を図り、高付加価値化を推進する。					